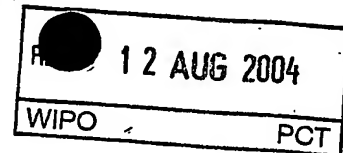


特 許 協 力 条 約

PCT



特許性に関する国際予備報告（特許協力条約第二章）

（法第12条、法施行規則第56条）

〔PCT36条及びPCT規則70〕

出願人又は代理人 の書類記号 PCT0300800	今後の手続きについては、様式PCT/IPEA/416を参照すること。	
国際出願番号 PCT/JP03/16880	国際出願日 (日.月.年) 26.12.2003	優先日 (日.月.年) 27.12.2002
国際特許分類 (IPC) Int. Cl ⁷ B42F 1/02		
出願人 (氏名又は名称) エヌエスプランニング株式会社		

1. この報告書は、PCT35条に基づきこの国際予備審査機関で作成された国際予備審査報告である。 法施行規則第57条（PCT36条）の規定に従い送付する。	
2. この国際予備審査報告は、この表紙を含めて全部で <u>3</u> ページからなる。	
3. この報告には次の附属物件も添付されている。 a <input checked="" type="checkbox"/> 附属書類は全部で <u>7</u> ページである。 <input checked="" type="checkbox"/> 補正されて、この報告の基礎とされた及び/又はこの国際予備審査機関が認めた訂正を含む明細書、請求の範囲及び/又は図面の用紙（PCT規則70.16及び実施細則第607号参照） <input type="checkbox"/> 第I欄4.及び補充欄に示したように、出願時における国際出願の開示の範囲を超えた補正を含むものとこの国際予備審査機関が認定した差替え用紙 b <input type="checkbox"/> 電子媒体は全部で _____ (電子媒体の種類、数を示す)。 配列表に関する補充欄に示すように、コンピュータ読み取り可能な形式による配列表又は配列表に関連するテーブルを含む。（実施細則第802号参照）	
4. この国際予備審査報告は、次の内容を含む。 <input checked="" type="checkbox"/> 第I欄 国際予備審査報告の基礎 <input type="checkbox"/> 第II欄 優先権 <input type="checkbox"/> 第III欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての国際予備審査報告の不作成 <input type="checkbox"/> 第IV欄 発明の単一性の欠如 <input checked="" type="checkbox"/> 第V欄 PCT35条(2)に規定する新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解、それを裏付けるための文献及び説明 <input type="checkbox"/> 第VI欄 ある種の引用文献 <input type="checkbox"/> 第VII欄 国際出願の不備 <input type="checkbox"/> 第VIII欄 国際出願に対する意見	

国際予備審査の請求書を受理した日 27.04.2004	国際予備審査報告を作成した日 23.07.2004	
名称及びあて先 日本国特許庁 (IPEA/J P) 郵便番号100-8915 東京都千代田区霞が関三丁目4番3号	特許庁審査官 (権限のある職員) 赤 木 啓 二 電話番号 03-3581-1101 内線 3264	2 T 8202

様式PCT/IPEA/409 (表紙) (2004年1月)

第I欄 報告の基礎

1. この国際予備審査報告は、下記に示す場合を除くほか、国際出願の言語を基礎とした。

☐ この報告は、_____ 語による翻訳文を基礎とした。

それは、次の目的で提出された翻訳文の言語である。

- ☐ PCT規則12.3及び23.1(b)にいう国際調査
☐ PCT規則12.4にいう国際公開
☐ PCT規則55.2又は55.3にいう国際予備審査

2. この報告は下記の出願書類を基礎とした。(法第6条(PCT14条)の規定に基づく命令に回答するために提出された差替え用紙は、この報告において「出願時」とし、この報告に添付していない。)

☐ 出願時の国際出願書類

☒ 明細書

第 _____ ページ、出願時に提出されたもの
 第 _____ ページ*、14.07.2004 付で国際予備審査機関が受理したもの
 第 _____ ページ*、_____ 付で国際予備審査機関が受理したもの

☒ 請求の範囲

第 _____ 項、出願時に提出されたもの
 第 _____ 項*、PCT19条の規定に基づき補正されたもの
 第 _____ 項*、14.07.2004 付で国際予備審査機関が受理したもの
 第 _____ 項*、_____ 付で国際予備審査機関が受理したもの

☒ 図面

第 _____ ページ/図、出願時に提出されたもの
 第 _____ ページ/図*、_____ 付で国際予備審査機関が受理したもの
 第 _____ ページ/図*、_____ 付で国際予備審査機関が受理したもの

☐ 配列表又は関連するテーブル

配列表に関する補充欄を参照すること。

3. ☒ 補正により、下記の書類が削除された。

☐ 明細書 第 _____ ページ
☒ 請求の範囲 第 _____ 項
☐ 図面 第 _____ ページ/図
☐ 配列表(具体的に記載すること) _____
☐ 配列表に関連するテーブル(具体的に記載すること) _____

4. ☐ この報告は、補充欄に示したように、この報告に添付されかつ以下に示した補正が出願時における開示の範囲を超えてされたものと認められるので、その補正がされなかったものとして作成した。(PCT規則70.2(c))

☐ 明細書 第 _____ ページ
☐ 請求の範囲 第 _____ 項
☐ 図面 第 _____ ページ/図
☐ 配列表(具体的に記載すること) _____
☐ 配列表に関連するテーブル(具体的に記載すること) _____

* 4. に該当する場合、その用紙に“superseded”と記入されることがある。

第V欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての法第12条（PCT35条(2)）に定める見解、それを裏付ける文献及び説明

1. 見解

新規性 (N)	請求の範囲	3-8	有
	請求の範囲		無
進歩性 (IS)	請求の範囲	3-8	有
	請求の範囲		無
産業上の利用可能性 (IA)	請求の範囲	3-8	有
	請求の範囲		無

2. 文献及び説明 (PCT規則70.7)

請求の範囲3-8に係る発明は、国際調査報告に引用されたいずれの文献にも記載されておらず、当業者にとって自明なものでもない。

明 細 書

クリップ付き装着具

技術分野

本発明は、携帯物などに簡便に装着して使用することができ、特に被服類に装着して使用することができ、かつファイルの背表紙などにも好適に使用することができる多目的クリップ付き装着具に関する。

背景技術

従来、香料などの揮発分を含む匂い袋があるが、鎖類で胸に掛けるか、ポケットに入れておくものであり、袋の工夫などがなされている（例えば、特開平 1 1 - 3 2 8 2 2 号公報参照）。

一方、クリップは種々形態のものが開示されているが、いずれも 2 つのものを挟み付けるものとして使用されている。

また、書類を冊子状に束ねるファイルなどの背表紙には、両側端部を接着等により貼り付けた略矩形縦長状の透明合成樹脂シートがあり、背見出し紙等を挿入できるようにしてある。

このようなファイルに背見出し紙等を挿入する方法は、ファイルなどを開いて反転させ、挿入口を開き、そこに背見出し紙等を挿入するものである。この作業は、ファイルなどを反転させなければならないため手間取るものであった。

発明の開示

本発明は、上記のような従来 of 発想とは異なった着眼に立ち、携帯に便利であり、かつ見栄えの良く、特に被服に或いはファイルの背表紙などに簡便に装着できる多目的クリップ付き装着具を提供せんとするものである。

上記課題を解決するために、本発明の第1の形態は、合成樹脂シート材により形成され、開口部を残して周縁部分をシールした少なくとも二つの収納部を有し、一方の収納部には目的に応じた用途物を収納し、他の収納部には線材を折曲して略U字形を形成するとともに、その上端を内折れ又は外折れさせて略U字形の内側又は外側に平行させて形成したクリップの挟着一端部を挿着してクリップを少なくとも具備させ、クリップの挟着他端部を被装着部への係止部とし、係止部と収納部側とで被装着部を挟持するようになしたクリップ付き装着具としたことを特徴とする。

本発明の第2の形態は、合成樹脂シート材により形成され、開口部を残して周縁部分をシールした少なくとも二つの収納部を有し、一方の収納部には通気部を形成して揮発成分などの発散成分含有材を収納し、他の収納部には線材を折曲して略U字形を形成するとともに、その上端を内折れ又は外折れさせて略U字形の内側又は外側に平行させて形成したクリップの挟着一端部を挿着してクリップを少なくとも具備させ、クリップの挟着他端部を被装着部への係止部とし、係止部と収納部側とで被装着部を挟持するようになしたクリップ付き装着具としたことを特徴とする。

本発明の第3の形態は、合成樹脂素材の表シート材裏側に、少なくとも二重に合成樹脂シート材を積層するとともに、開口部を残して周縁部分をシールして収納部を形成し、表シート材側の収納部は出し入れ可能な目的に応じた用途物の収納部とし、裏側の収納部は装着部とし、少なくともここに線材を折曲して略U字形を形成するとともに、その上端を内折れ又は外折れさせて略U字形の内側又は外側に平行させて形成したクリップの挟着一端部を差込み、クリップの挟着他端部を被装着部への係止部とし、係止部と収納部側とで被装着部を挟持するようになしたクリップ付き装着具としたことを特徴とする。

本発明の第4の形態は、合成樹脂素材の表シート材裏側に、少なくとも二重に合成樹脂シート材を積層するとともに、開口部を残して周縁部

分をシールして収納部を形成し、表シート材側の収納部は、通気部を残して開口部を閉止可能として揮発成分などの発散成分含有材を収納し、少なくとも裏側の収納部に線材を折曲して略U字形を形成するとともに、その上端を内折れ又は外折れさせて略U字形の内側又は外側に平行させて形成したクリップの挟着一端部を差込み、クリップの挟着他端部を被装着部への係止部とし、係止部と収納部側とで被装着部を挟持するようにしてなるクリップ付き装着具としたことを特徴とする。

図面の簡単な説明

図1は、本発明の一例の携帯装着具を示し、(A)はその表面図、(B)は裏面図、(C)は横断面図である。

図2は、図1の収納体を示し、(A)はその裏面図、(B)は側面図、(C)は横断面図、(D)は裏シート材の端部を示す部分断面図である。

図3は、図1のクリップの正面図である。

図 4 は、本発明の携帯装着具の他の一例の裏面図である。

図 5 は、図 4 の携帯装着具の概略側断面図である。

図 6 ～ 8 は、本発明の携帯装着具の収納体の一例を示した裏面図である。

図 9 は、挟着他端部の先端部に合成樹脂材を融着させた本発明の携帯装着具に用いるクリップの一例を示した正面図であり、(A) はチューブ状に形成、(B) は球状に形成したものである。

図 10 は、一方の挟着一端部の下端部の位置を他方の挟着一端部の下端部の位置よりも上方に位置させた本発明の携帯装着具に用いるクリップの一例を示した正面図である。

図 11 は、ファイルの背表紙などに装着しやすくした本発明の携帯装着具に用いるクリップの一例を示した正面図である。

図 12 の (A) は、被装着部に強く挟持する構成とした本発明の携帯装着具に用いるクリップの一例を示した正面図、(B) は (A) の拡大側面図である。

図 13 は、図 12 のクリップの変形例を示した正面図である。

図 14 (A) ～ (C) は、本発明の携帯装着具の使用例を示した概略斜視図又は正面図である。

図 15 は、図 1 の携帯装着具の異なる一例の裏面図である。

図 16 は、IC チップ内蔵の例を示す形態の裏面図である。

発明を実施するための最良の形態

図面を用いて本発明の一例の実施形態を説明する。

図 1 は一例としての本発明のクリップ付き装着具を示しており、図 2 はその収納体、図 3 はクリップを示している。符号 1 はクリップ付き装着具、2 は収納体、3 はクリップである。

収納体 2 は、装飾或いは名札などの用途に合う大きさに象った合成樹脂乃至透明合成樹脂素材の表シート材 4 を形成し、この裏面に中シート材 5、裏シート材 6 の二枚の合成樹脂素材を積層し、開口部を除いて周

さらに、収納体 2 は、図 6 に示すように、表側収納部 7 及び裏側収納部 8 を縦長状に形成することや、図 7 に示すように、中シート材 5 の上端を上方に延設した上端片 11 を形成することや、図 8 に示すように、前記上端片 11 の面上に円形状の孔 12 を形成した形状にすることができる。

クリップ 3 は、図 1 ～図 3 に示すように、クリップ差込み収納部 8a 内に挿入する挟着一端部 3a と、収納部外側に露出して被装着部への挟着部となる挟着他端部 3b とを、該他端部 3b の内側に挟着一端部 3a が位置するように鋼線材を折曲して形成し、両端部に対する表裏方向への適度（指先での加圧力程度）な加圧に対して復元力が作用するものとして形成してなっている。

図 3 では、鋼線材を折曲して U 字形を形成するとともに、その上端を内折れさせて U 字形の内側に平行させて形成し、或いは図示しないが、抜けやすさ防止のために端部をさらに内側に折返し沿わせて挟着一端部 3a を形成し、或いはまた、この一端部を内方にさらに小 U 字形状に折曲し形成して、両端部で内外方向に挟着できるように形成し、この内側の挟着一端部 3a をクリップ差込み収納部 8a 内に差込んだ状態において、外側の挟着他端部 3b の垂直部 3c は上記裏シート材 6 の収まり部 6b 内に収まり、U 字形状の下端部 3d が裏シート材 6 の下方に突出して配設されるように形成してある。挟着一端部 3a の面上にプレス加工などで傷を付けて抜けにくくしてもよい。

なお、クリップは合成樹脂製でもよく、その場合、一端部は板面状であってもよく、また、上記折曲形状は図示以外の適宜形状とすることができる。

図 1 ～図 3 のクリップ付き装着具 1 は、クリップ 3 の挟着一端部 3a

請 求 の 範 囲

1. (削除)

2. (削除)

3. 合成樹脂シート材により形成され、開口部を残して周縁部分をシールした少なくとも二つの収納部を有し、一方の収納部には目的に応じた用途物を収納し、他の収納部には線材を折曲して略U字形を形成するとともに、その上端を内折れ又は外折れさせて略U字形の内側又は外側に平行させて形成したクリップの挟着一端部を挿着してクリップを少なくとも具備させ、クリップの挟着他端部を被装着部への係止部とし、係止部と収納部側とで被装着部を挟持するようにしてなるクリップ付き装着具。

4. 合成樹脂シート材により形成され、開口部を残して周縁部分をシールした少なくとも二つの収納部を有し、一方の収納部には通気部を形成して揮発成分などの発散成分含有材を収納し、他の収納部には線材を折曲して略U字形を形成するとともに、その上端を内折れ又は外折れさせて略U字形の内側又は外側に平行させて形成したクリップの挟着一端部を挿着してクリップを少なくとも具備させ、クリップの挟着他端部を被装着部への係止部とし、係止部と収納部側とで被装着部を挟持するようにしてなるクリップ付き装着具。

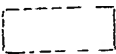
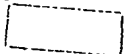
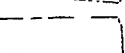
5. 合成樹脂素材の表シート材裏側に、少なくとも二重に合成樹脂シート材を積層するとともに、開口部を残して周縁部分をシールして収納部を形成し、表シート材側の収納部は出し入れ可能な目的に応じた用途物の収納部とし、裏側の収納部は装着部とし、少なくともここに線材を折曲して略U字形を形成するとともに、その上端を内折れ又は外折れさせて略U字形の内側又は外側に平行させて形成したクリップの挟着一端部を差込み、クリップの挟着他端部を被装着部への係止部とし、係止部と収納部側とで被装着部を挟持するようにしてなるクリップ付き装着具。

6. 合成樹脂素材の表シート材裏側に、少なくとも二重に合成樹脂シ

ト材を積層するとともに、開口部を残して周縁部分をシールして収納部を形成し、表シート材側の収納部は、通気部を残して開口部を閉止可能として揮発成分などの発散成分含有材を収納し、少なくとも裏側の収納部に線材を折曲して略U字形を形成するとともに、その上端を内折れ又は外折れさせて略U字形の内側又は外側に平行させて形成したクリップの挟着一端部を差込み、クリップの挟着他端部を被装着部への係止部とし、係止部と収納部側とで被装着部を挟持するようにしてなるクリップ付き装着具。

7. 二つの収納部の内、裏側の収納部は、裏側収納部の両側にクリップ差込み収納部を形成し、若しくは、両側部に位置したクリップ差込み収納部として形成してなる請求項3～6のいずれかに記載のクリップ付き装着具。

8. (補正後) 収納部にデータ送受信可能なICチップを収納した請求項3～7のいずれかに記載のクリップ付き装着具。

- 9. 
- 10. 
- 11. 
- 12. 